



自民党

TOKAメールは 前衆議院議員 とかしきなおみの政治活動を報告しています。 <討議資料>

前衆議院議員 自民党大阪7区(吹田市・摂津市)支部長

とかしき なおみ

とかしきなおみ後援会事務所 〒564-0026 吹田市高浜町9-16 TEL.06-6319-1535 FAX.06-6319-1536



「1人4万円の減税。非課税世帯には7万円の給付。増収分を還元する」岸田総理の発表を聞いて、私は愕然となりました。少子化対策、防衛費も見通せていない今、なぜ国民の皆さまに増収分をお返しするのか。「消費拡大につなげ好循環を実現する」と言われても、この金額では効果が疑わしいと思うのは、私だけではないでしょう。

先日「日米ヘルスケア・ラウンドテーブル」が日本でわれ、私は司会を担当しました。



この会議には、日米の政府、官庁、製薬企業のトップが一堂に会するハイレベルな会議で西村経産大臣も会場に駆けつけてくださいました。今世界で急成長を遂げているのは医薬品産業です。しかし、日本政府は足りない社会保障の費用を、薬の価格を下げることで補ってきました。

税金を大きくしてから、お返りする！

その結果多くの医薬品企業が日本を離れ、コロナのワクチン開発では欧米の後塵を拝しました。更に世界の薬の中で、現在日本人が使えるのは半分以下となっています。高齢社会に向かって一番必要な医薬品産業の成長を、日本は阻んで来たのです。

西村経産大臣から「日本は政策を転換すべき。世界から日本の医薬品産業に投資をして貰うことが重要だ」というお話を頂きました。

しかし今後は、経済をしっかり回すことに税金を投入して、お金を大きくしていくことが大切です。労働人口が減るなら、一人一人の収入を増やすことを目指すべきです。将来性のある産業に、国は成長を阻む規制を取り除き、円安の強みを活かして、世界から投資を呼び込み経済を回す仕組みをつくるのが、重要だと私は考えます。



一昔前は、行政は無駄をなくす努力をたくさんしてきました。



薬剤師『とかしきなおみ』のワンポイントアドバイス

インフルエンザの治療の流れ

- ①検査キッドは、発熱から約3時間でインフルエンザの判定を行えます。
発熱後6時間様子見てから検査を受けましょう。
- ②薬には、経口薬、吸入器、静脈内薬がありますが、症状や経過度によって治療方針は決まります。症状が現れてから48時間以内に開始するのがベストです。

インフルエンザを予防する

- ①予防には、インフルエンザのワクチンを毎年接種することを薦めます。
- ②コロナワクチンのとの同時接種も可能です。



LINE で応援!



こちらのQRコードを
かざして読み取りできます!



【プロフィール】

1962年京都市生まれ
昭和大学薬学部卒業（薬剤師免許取得）
株式会社 資生堂 入社
早稲田大学ビジネススクール卒業
東京都杉並区議会議員連続2期
2005年衆議院小選挙区にて初当選

【これまでの主な役職】

厚生労働副大臣
環境副大臣
衆議院 厚生労働委員長
党 厚生労働部会長
党 環境部会長

LINE 登録の手順 簡単! 3step!

LINE アプリ を開く



- ① を選択し
QRコードリーダー
を開く

②このチラシ中段の
QRコードを
読み込む



- ③ 友達を追加
で登録完了!



拡散の方法

画面右下の

「お友達へおしえる」

から

お知り合いの方に

拡散

をお願いします



最新が知りたい
政治・経済について
わかりやすく解説!

Youtube
とかしきチャンネル

